

2011年5月17日

鹿児島県知事
伊藤 祐一郎 殿

日本共産党鹿児島県委員会
委員長 野元 徳英
日本共産党県議団
代表 まつざき真琴

馬毛島への米軍訓練移転に関する申し入れ

16日の新聞報道によると、在日米軍再編で、米軍厚木基地から岩国基地に移転する米軍空母艦載機の発着訓練（FCLP）を西之表市の馬毛島で実施する方向で最終調整に入ったとされている。

過去にも馬毛島での米軍訓練移転情報があり、地元自治体の首長・議長でつくる米軍基地等馬毛島移設問題対策会議では、政府に対しても数回反対の意思表示を行ってきた。今回の報道を受け、昨日、同協議会が開催され、強く反対の意思確認がなされたと聞く。また、地元住民も、これまで集会や署名活動などを行い、繰り返し反対の意志を表明してきている。

種子島は農林漁業が中心の地域であり、屋久島は世界遺産に登録され、国内はもとより世界中から観光客が訪れる観光の島である。FCLPが移転することになれば、農林漁業や観光への影響は甚大であり、住民も騒音被害や事故の危険にさらされることになる。

今、国内では東日本大震災が発生し、多くの国民が被災者の支援や復興に心を寄せ、力を尽くしていきたいと願っている。実際に、国力を挙げ、あらゆる力を結集していかなければ、全被災者の復興は果たせない。

そういう最中に、人命を傷つけ、あらゆるものを破壊する戦争のための米軍訓練のために新たな支出をするなど、到底認められるものではない。そもそも、洋上基地（司令部）としての機能を持ち、海の上のどこからでも航空機を発進させることができる空母は、日本の防衛とは無縁のものである。今の日本に必要なものは、ゆきすぎた軍事費を削り、米軍への思いやり予算をなくすなど、平和を守り、国民の命と暮らしを守る政治である。

貴職が、県民の生命・財産を守る立場で、下記の点について、尽力されることを強く申し入れるものである。

記

1. 米軍空母艦載機の発着訓練の馬毛島への移転計画の情報について、早急に政府に確認し、その内容を県民に公表すること。
2. 国の出方を待つのではなく、直ちに地元自治体と共同し、政府に対して強く訓練移転反対の意志を表明すること。

以上